

桃三校内研究便り

令和4年3月23日

桃井第三小学校 研究部

＜研究主題＞

児童の「かしこさ たくましさ」を育む指導法の工夫

今年の校内研究のそれぞれの授業の様子をお知らせします。

6月16日(水) 6年2組 体育科 「走り高跳び」

教諭 佐藤 慎一郎

6年生では、児童の「かしこさ たくましさ」を育むために、走り高跳びの学習で、タブレット端末を活用しました。撮影した動画をコマ送りで見て、よい動きやよりよい動きとはどのような動きかということについて考えました。それにより、友達の動きを集中して見たり自分の動きの改善につなげたりすることができました。振り返りでは、自分の動きの変化を視覚的に捉えることで、次への課題をもつことができました。



10月14日(木) 梅組 算数科「かたちあそび・かたちづくり～三角形と四角形～」

教諭 川原 悠成

主任教諭 小林佐紀子

教諭 小林 裕子

介助員 早川 聖子

「かたちあそび」と「かたちづくり」の二部構成で授業を行い、三角形と四角形を取り上げました。基本となる三角形、四角形の定義を教えると、その定義を使って子どもたちは「だって～だから。」など、活動の中で、自分なりの言葉で説明する姿が見られました。研究授業の後、学校にある三角形や四角形を探し、ipadで写真を撮り、発表する学習を行い、さらに図形に親しむことができました。



1月25日（木）3年3組 社会科「わたしたちの暮らしと商店の仕事」

教諭 美濃谷 康太

「困っているスーパーマーケットを助けよう」という学習課題を立てました。学習過程の中で、実際に南口に新しくできたサミットの店長さんの話を聞きました。実際に困っていることということで、この学習課題は、子どもたちにとって切実なものとして捉えられたようでした。そして、今まで学習してきた知識を生かす、関連付けて考えるという活動時間になりました。

3年生は、この一年間、毎時間の学習の中で、まずとにかく「自分で考える」「自分の考えをもつ」ということを大切に、それを友達と共有したくなるような学習活動を積み重ねてきました。次年度にもつなげていきたいと考えています。



1月28日（金）1年3組 算数科 「大きなかず」

教諭 中村 真子

「2ずつ、5ずつ、10ずつ…どう並べたら、もっと数えやすくなるかな？」1年生では、100をこえる大きな数の学習の導入として、たくさんのおはじきを正しく分かりやすく数えるにはどうしたらよいかということについて考えました。今までの学習を生かし、試行錯誤しながら自分の考えを練り上げる姿に、1年間の成長が表れていました。

一人一人の考えは、ICTを活用して教室のみんなと共有し、コロナ禍の中でも「主体的・対話的で深い学び」を実現することができました。次年度も、自分の考えを表現し、伝え合うことを重視した学習を展開していきたいと考えています。



来年度も、授業改善の研究を行っていく予定です。一年間、ありがとうございました。